

錆びついた銃弾 (1991)

DIARY OF A HITMAN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 91分

初公開日 1993/05/07

公開情報 HRSフナイ

【解説】

凄腕の殺し屋（F・ウィテカー）の次の標的は、夫からの依頼によるその若妻と赤ん坊だった。女子供は殺さないという主義を曲げ、任務遂行を決心する殺し屋だったが、若妻と言葉を交わしてしまったために両者の間に奇妙な感情が生まれ始めた……。限定空間の中で繰り広げられる会話劇はまるで舞台のようだと思っていたら、原作はケネス・プレスマンの舞台劇（自身で脚色）だった。原題が“殺し屋の日記”というだけに、F・ウィテカーのモノログが全編に渡って展開され、夫に殺される運命にある若妻との交流が描かれるが、ドラマティックなものではなく、かなりエキセントリックなものになっている。だが、感情を次々と激変させていく登場人物たちの描写は満足とは言えず、どうにも舌っ足らずな印象を受けてしまう。雰囲気は悪くないのだが。S・ストーン、J・ベルーシはまったくの客演、出番は1・2シーンのみ。池袋シネマ・ロサで単館ロードショーされた。

【クレジット】

監督	ロイ・ロンドン	Roy London
製作	アミン・Q・チョードリ	Amin Q. Chaudhri
製作総指揮	マーク・ダモン	Mark Damon
原作	ケネス・プレスマン	
脚本	ケネス・プレスマン	
撮影	ユーリ・サカイ	
音楽	ミシェル・コロンビエ	Michel Colombier
出演	フォレスト・ウィテカー	Forest Whitaker
	シェリリン・フェン	Sherilyn Fenn
	シャロン・ストーン	Sharon Stone
	ジェームズ・ベルーシ	James Belushi
	ロイス・チャイルズ	Lois Chiles
	シーモア・カッセル	Seymour Cassel
	ジョン・ベッドフォード・ロイド	John Bedford Lloyd
	ルイス・スミス	Lewis Smith
	ブレット・リッカビー	Brett Rickaby